

## 第6章 地域新エネルギービジョン推進に向けて

### 6.1 ビジョン推進のための役割分担

環境にやさしい循環型社会の実現に向けて新エネルギーを広く市内へ普及させるためには、市、事業者、市民の三者が一体となり責任と役割を分担しながら、新エネルギー活用へ向けた行動を実践して行くことが必要となります。

このため、本ビジョンではビジョンの推進に向けた、行政、市民、事業者の役割を示しました。

#### 【行政】

[役割] 新エネルギー利用等の初期需要創出・拡大を図り、市民・事業者の新エネルギー導入の意欲を促すための関連施設への導入を率先して実施するほか、市民や事業者が新エネルギー導入、省エネルギー対策に取り組みやすい体制づくりを行います。

[取組] ・新エネルギー導入、省エネルギー対策の率先実行

- ・新エネルギー導入に関する情報提供、普及啓発
- ・助成制度の創設など、市民・事業者への支援
- ・国、県、周辺自治体、市民団体等との協力・連携
- ・廃棄物発電、廃棄物熱利用などについて、広域的な取り組みを念頭に置いた積極的な推進
- ・庁舎への太陽光発電や太陽熱利用システムの設置
- ・公用車・塵芥車等へのクリーンエネルギー自動車の導入
- ・市民、事業者へのクリーンエネルギー自動車導入の促進

#### 【市民】

[役割] 新エネルギー利用等の意義や特性を理解し、可能な限り新エネルギーの導入や省エネルギー対策に取り組みます。

[取組] ・太陽光発電、太陽熱利用機器、などの積極的な導入

- ・公共交通機関や徒歩・自転車の積極的利用、クリーンエネルギー自動車の購入
- ・日常生活における省エネルギー行動の実践
- ・住宅の断熱化、省エネルギー機器の購入
- ・新エネルギーに関する普及啓発事業への積極的参加

### 【事業者】

[役割] 新エネルギーの導入の意義、経済性および利便性などの特性に関する理解を深める。また、事業活動を通じた新エネルギー利用や省エネルギー対策に可能な限り取り組みます。

[取組] ・新エネルギーおよび省エネルギー機器の積極的な導入  
・事業活動における省エネルギー対策の推進  
・新エネルギー、省エネルギーに関する事業所内教育の実施  
・新エネルギー、省エネルギー機器の開発および提供  
・市が行う新エネルギー導入事業への積極的参加

## 6.2 ビジョンの推進体制

新エネルギー導入に関する課題を解決し、効率よく普及させるためには、各施策を計画的に展開しなければなりません。そのために、庁内推進体制を構築し、具体的導入手法を検討することにより、全庁的に本ビジョンを推進します。

また、多くの公共施設について、新・改築時にあわせ、新エネルギー導入の検討を行います。

## 6.3 今後の課題

新エネルギーを取り巻く近年の環境は、気候変動枠組み条約締結国会議の進行やエネルギー産業の自由化・効率化、制度整備等に伴いめまぐるしく変化しています。

そのような中であって、わが国は 2010 年の温暖化ガス削減目標に向け、削減対策を着実に実行して行かねばなりません。その対策として新エネルギーの導入に期待されるものは大きいですが、新エネルギーは経済性や出力不安定等のため急速な普及には、行政による支援や市民・事業者による導入のための協力等相当な努力が必要です。

また、新エネルギー・省エネルギーに関する技術の進展は早く、具体的に導入を行う段階では、最新の情報を収集して導入設備・機器の十分な適性評価を行うことも重要です。